



学校だより

ウェブページURL：<http://www2.sendai-c.ed.jp/~nisitaga/>

運動会終了！ご協力ありがとうございました

そよぐ風も夏めいてまいりました。休み時間にはたくさんの子供たちが外遊びを楽しんでいます。

今年は2年ぶりに運動会を開催することができました。天候のため情報が錯綜しご迷惑をおかけしました。保護者の皆様には三密に気を付けて参観していただき感謝申し上げます。ゴールデンウィーク明けから各学年練習に打ち込んできました。それぞれのめあてに向かいしっかりと取り組めたのではないのでしょうか。ぜひご家庭でも運動会について話題にし、お子さんの頑張りを褒めてくだされば幸いです。また、持ち帰りましたノートはPTAからの記念品です。ぜひお使いください。

さて、6月は修学旅行、かしわ学級の七ツ森合同合宿や教育実習など大きな行事が続きます。行事を通して学ぶことはたくさんあります。また、日々行われている学習活動があつてこそ、行事での学びも深まるものです。

新しい学年がスタートし2か月たちました。学級でのルールが定着してくる頃です。お子さんの様子はいかがですか。学校でも目を掛け、声を掛けて子供たちに向き合っています。ご家庭でも、毎日の学校生活について聞いてあげてください。ご家庭と力を合わせて子供たちを育てていきたいと思ひます。

☆☆☆プールでの学習について☆☆☆

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、今年度はプールでの学習を行います。持ち物やプール開きについては後日配付されるお便りをご覧ください。また、プールでの学習にご質問等がございましたら、教頭までご連絡ください。



6月の行事予定

- 1日(火) 1年5校時開始
スクールカウンセラー勤務日
- 3日(木) 耳鼻科検診1・3・5年かしわ
- 4日(金) 1年心臓病検査
ALT来校日
- 7日(月) 6年修学旅行結団式 クラブ活動
- 8日(火) 6年修学旅行①
- 9日(水) 6年修学旅行②
- 10日(木) 6年5校時限
- 11日(金) 防犯子供を守ろうデー
避難訓練(シェイクアウト訓練)
代表委員会
- 14日(月) 教育実習(7/2まで)
- 15日(火) 3年学区探検
スクールカウンセラー勤務日
- 16日(水) 4校時限(13:40頃下校)
- 17日(木) 2年町たんけん
- 21日(月) クラブ活動
学校給食栄養士臨地実習(6/25まで)
- 22日(火) スクールカウンセラー勤務日
かしわ七ツ森合同合宿①
PTA本部役員会
- 23日(水) かしわ七ツ森合同合宿②
- 24日(木) 開校記念日朝会(TV)
花いっぱい運動
4年防災出前授業



- 25日(金) 引き渡し訓練
- 28日(月) 委員会
- 29日(火) 虫歯予防朝会(TV)
スクールカウンセラー勤務日
4年校外学習(震災遺構荒浜小)
- 30日(水) 代表委員会
6年校外学習(縄文の森広場)

7月の主な行事予定

- 2日(金) ALT来校日
- 6日(火) スクールカウンセラー勤務日
6年縄文の森体験学習
PTA運営委員会
- 8日(木) 6年スチューデントシティ(6年弁当持参)
- 9日(金) 集金日
防犯子供を守ろうデー
- 12日(月) クラブ活動
- 13日(火) スクールカウンセラー勤務日
- 16日(金) ALT来校日
6年出前授業(Go to宇宙)
- 20日(火) 給食最終日
夏休み前朝会
スクールカウンセラー勤務日
- 21日(水) 西小夏祭り
4校時限12時下校
- 22日(木) 夏季休業日(8/24まで)
- 26日(月) 個人面談(7/29まで)
- 30日(金) 個人面談(予備日)



◇◇NO!ゲーム・NO!動画デーの設定について◇◇

時間の使い方について自分で考える力を身に付けることを目的に、6月から全校児童が「NO!ゲーム・NO!動画デー」に取り組みます。保護者とお子さんで何日に「NO!ゲーム・NO!動画デー」を設定するのか決めていただき、実施できた場合はチェックを行う等、取組の仕方を考えております。詳しくは後日配付されるプリントをご覧ください。ご家庭でも、ゲームや動画視聴について話し合っただけであればと思います。



♣いじめ防止対策について♣

いじめ防止「きずな」キャンペーン～きみたちは ずっと なかま～

5月に仙台市立全小・中学校でいじめ防止「きずな」キャンペーンを実施しました。本校でも以下のような取組を行っています。「いじめをしない、させない、許さない」という子供たちの意識を高め、いじめの未然防止に努めていきます。今後ともご家庭でのお声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。

- いじめ防止「きずな」宣言カードの記入
- いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」の配付
- 本校独自の学校生活に関するアンケートの実施（6月に実施予定）
- アンケートを基にした児童面談（7月に実施予定）
- いじめに向かわない「学級づくり」と「心を育む授業」の実践

仙台まもらいだー

仙台市教育委員会のイメージキャラクター



まもりーす まもらいだー いじめんだー

♣♣ ～登下校時の児童の見守り「学校ボランティア防犯巡視員」募集中～♣♣

新学期から2か月が過ぎ、学校生活にも慣れ、子供たちは友達と仲よく元気に登下校をしています。しかし、登下校時、広がって歩いたり、走って転んでけがをしまったりする児童もまだまだ見られます。学校周辺は、シャンドリア交差点や狭い道路などがあり、安全な歩き方を常に指導しているところです。

児童の安全確保に大きな力を発揮してくださっているのが、学校ボランティア防犯巡視員の方々です。現在登録していただいている方は8名です。「安全な歩き方」や「あいさつ」など、多くのことを教えていただいています。

地域の方々と保護者の皆様、学校が力を合わせ、子供たちの安全確保に努めていきたいと思っております。防犯巡視ボランティア員として活躍していただける方、連絡をお待ちしております。

（◆お問い合わせは、学校地域支援本部 090-9148-6701まで）



♡6月のカウンセリングルーム♡

スクールカウンセラーとの面談をご希望の方は、電話を入れてご予約の上でご来校ください。

- 相談対象：本校の児童・保護者・学区内にお住まいの方
- 相談日：6月は、1日（火）15日（火）22日（火）29日（火）です。
- 場所：西多賀小学校カウンセリングルーム（西校舎3階相談室）
- 申込方法：電話で予約を受け付けます。
 - ・743-5231(相談室直通)：カウンセラーの勤務日以外はつながりません。
 - ・245-5355(職員室 教頭)へご連絡ください。



※スクールカウンセラー以外にも、担任、同学年の担任、教頭や養護教諭、教育相談担当者など、話しやすい職員にご連絡の上、ご相談ください。

◆◆田植え体験◆◆

5年生が、学区内で田植え体験を行いました。「JA 仙台青年部 西多賀支部」の皆さんに今年もお世話になりました。田植えの方法を教えていただき、一つ一つ昔ながらの手植えの方法で植えていきました。初めての泥の感触に子供たちは歓声を上げながら楽しそうに取り組んでいました。この後、秋まで成長を観察し稲刈りの体験をさせていただく予定です。



西多賀小学校のみなさんへ (かん字がむずかしいときは おうちの方に読んでもらってください)

いつもお話を読んでいただきありがとうございます。昨年は、児童のみなさんから感想文をいただいたり、保護者や地域の方から励ましのお言葉をいただいたりしました。本当にありがとうございます。たわいもないお話ですが、今年も書かせていただきます。よろしくお願ひします。

校長先生のむかし話⑨+⑩ ~ 地震 かみなり 火事 おやじ ~

板垣 和幸

去年のナンバー+今年の2号の意味です。

西多賀小学校のみなさん、こんにちは。昨日の運動会は雨で今日に延期になりました。急な変更で学校に来た人もいましたね。たいへんな思いをさせてしまって、すみませんでした。保護者の皆様にも御迷惑をおかけしました。たいへん失礼しました。

さて、今日の運動会はいかがでしたか？校長先生は西多賀小学校での初めての運動会、みんなのかがやく姿を見ることができたこと、たいへんにうれしく思います。校長先生も運動会が大好きでした。リレーで1位になったこともおぼえています。転んでしまって、ビリになったこともありました。今ではとてもいい思い出になっています。

さて、こわいものたとして使われる言葉に「地震 かみなり 火事 おやじ」があります。聞いたことがある人もいます。宮城県でも多い地震はこわいですね。おうちを焼きつくしてしまう火事もとてもこわいものです。ゴロゴロなるかみなりもこわい人が多いでしょう。おやじ？校長先生の父親もこわかった思い出があります。そんな、地震、かみなり、火事、おやじについて、一月ごとにお話していかうかなと思います。校長先生の経験したことのあるお話ばかりです。今日は地震についてのお話です。

避難訓練でもお話したように、宮城県はとても地震の多いところ。30年に一度は大きな地震が来るとも言われていることもお話ししました。校長先生は60才に近い年ですが、やはり記憶に残る大きな地震が二つあります。そういう意味で30年に一度大きな地震が来るということは、当たっているのかもしれない。

まず最初にお話するのは、平成23年3月11日におきた「東北太平洋沖地震」、東日本大震災という、とても大きな地震のことです。みなさんはまだ生まれていなかったり、生まれていても小さかったりするところの地震で、おぼえていない人が多いと思います。地震の中でも今までで一番大きな地震といわれていて、たくさんの方が亡くなったり、大きな津波が起きたりとても大きな被害がありました。

校長先生はそのころ、青葉区の小学校でお仕事をしていました。算数をおもに教えていて学級担任はしていませんでした。地震がおきたその日は金曜日、「子供を守ろうデー」になっていて、先生方は子供たちの下校の様子を見守る日になっていました。校長先生は、自動車で地区を走りながら、子供たちの下校の様子を見ていました。ところがある公園のところに来たとき、警察や消防署の方、そしてテレビカメラをかまえている人がいたので、どうしたのだろうと思い、車を止めてお話を聞くことにしました。警察などの人たちが集まっていたのは、道路わきの土管の中で、何か燃えていたからでした。校長先生は近くに集まっている小学生の子供たちに、早く帰るようにお話をしていたのですが、そのとき・・・。

とつぜん地面が波を打つような大きくゆれにおそわれました。それは今まで経験したこともない、いつこのゆれはおさまるのだろうというくらい長く、大きなゆれでした。校長先生は何とか立ち上がり、子供たちを集め、上から落ちてくるものや電線のない空き地に避難させました。本当に長いゆれでしたが、そのゆれがおさまってから、子供たちにおうちにだれかいる人はおうちに帰ること、いない人は学校にもどることを伝えて、校長先生は車で学校にもどりました。もどるとちゅうの車の中のテレビで、とても大きく大きな津波が来ることがニュースになっていました。学校にもどると、学校にいた先生方も校庭に避難し、学校にもどってきた子供たちもたくさんいました。地域の方々も避難してきていました。

この後のことは、ここには書き切れないくらいいたいへんなことが日本中におこっていました。その時代に生きていた方々は、それぞれのつらい震災を経験したことになります。10年前のこの震災については、一人一人が学び、今後の防災に備えていってほしいと感じています。

校長先生が、初めて大きな地震を経験したのは校長先生が高校1年生の時に起きた「宮城県沖地震」でした。地震のエネルギーとしては、今年、宮城県で起きた地震とあまり変わらないのですが、今から40年以上前ですから、建物などが丈夫でないところもあって、被害が多かったように思います。宮城県でも亡くなった方がいましたが、その多くはブロックベ이가倒れてきて、下じきになってしまった子供たちがでした。

校長先生はその日、高校に入って初めての中間テストが近かったので部活がなく、早く学校から帰っていました。あまりテストの勉強をしなくなかった校長先生は母校の中山中学校に行き、部活のバスケットを教えていたのです。部活が終わり、戸締まりをするのですが、中総体後、キャプテンが交代したばかりで戸締まりの方法がよく分からないらしく、キャプテンの経験がある校長先生が戸締まりの仕方を教えていました。戸締まりが終わり、帰ろうと体育館のフロアを歩いていると、突然体育館の窓がガタガタと鳴り出しました。ゆれは感じなかったのですが、そのときは「何だろう？風かな？」と思いましたが、実は大きな地震の前兆でした。

後輩たちと別れ、学校の校門を出て、すぐのところで今度は立ってられないくらい大きなゆれにおそわれたのです。校長先生は立ってられなくなり、すわってゆれがおさまるのを待ちましたが、そのとき見た家のゆれ方は今でも忘れられません。まるでテレビのサザエさんのエンディングテーマソングのときに家が大きくゆれるシーンのように、家が倒れそうになっていたのです。

しばらくして、ゆれはおさまりましたが、校長先生は外にいたので、大きな地震と感じながらも、それほど被害があるとは思わずに家の方へ帰って行きました。しかしその途中でたくさん被害の様子を感じるようになったのです。初めに目にしたのは、電話ボックスの戸が外れて外に飛び出たことでした。でも校長先生はそのときも「だれがいたずらしたのだろう？」くらいにしか思いませんでした。次に目にしたのは、よく通っていた酒屋さんの光景でした。近くまで行ったら、何か変なお店においでです。お店の前まで来て、その理由が分かりました。お店の中のお酒やジュースのビンが割れてしまって、道路に流れ出たのです。お酒やジュースのにおいが混じり合って、変なお店においでになっていたのです。「板さん、今日はお店はおしまいだからねー。」とお店のおばさんが校長先生に声を掛けました。そこから家にもどる途中には、ブロックベ이가倒れている光景をたくさん見かけました。「これは大変なことかもしれない。」やっとなんか大変なことだと気付いた校長先生はあわてて家に帰ったのです。

うちに帰ると家の中もめちゃくちゃ。「かずゆき、電池とろうそく、買ってきて！」母に言われて、桜ヶ丘にある電気屋さんに行きましたが、お店にはあまりものがありませんでした。それからしばらくの間、とても不便な生活をした記憶があります。ニュースでは建物がつぶれたり、ブロックベいで人が亡くなったりしているということを伝えていました。次の日、高校まで自転車で試してみましたが、途中で道路にできた地割れにタイヤが入りそうになったり、学校のげた箱では、同じ色、同じ形の上靴が山のように重なってたりしていました。学校でも授業ができない状態になり、予定されていたテストも少し伸びて、「助かった！」と思った記憶もあります。

校長先生はこの2回以外にも大きな地震を経験しています。それだけ宮城県は地震の多い県です。児童のみなさんは、地震などの災害に対して、学校やおうちでいろんなことを学んで、自分の命は自分で守れるような力を付けて行ってほしいと思っています。今度のお話は、かみなりについてです。校長先生はどんな経験をしたのでしょうか？来月、お話したいと思います。